

笑う門には  
福来る。



松山市勝山町1-18-10  
(株)日本交通社  
TEL(089)946-3911  
発行人：中村剛志

花は道に咲く  
心は道に在る  
大いなる道は無門  
閑さくはならぬ

ひらへ

真民七十四歳の時の詩。「大道無門、千差路有」と無門禪師が「無門閑」で言っているように、人生の道も千差路有り。どの道を進むかを選択する時のためにも、こころはひらいてなければならぬ。

坂村真民記念館(砥部町)

明朗・愛和・喜働

桜の美しさに学ぶ

『万葉集』には、桜を詠んだ和歌や俳句が数多く収められています。

桜は古来より日本人に親しまれ、人々の生活と、密接に関わっていました。奈良・吉野の桜は、ご神木として崇められ、「桜の花には神霊が宿る」と信じられていました。

枝を折って頭にかざし、靈力にあやかろうという習俗もありました。桜の花の咲き具合によって、穀物の豊凶を占ったともいわれています。

桜の種類は、昔は今ほど多くはなく、野や山に自生する山桜が主だったようです。時代が進むにつれ、交配や品種改良が行なわれるようになり、江戸時代には三百品種ほど、現在では六百品種以上に増えています。

桜の木を少し離れたところから眺めると、全体が一つの美しい景色を作り出しています。それは、美しい花が集まって作り出す調和・和合の美しさでしょう。

桜の調和・和合の美しさは、家庭や職場や社会という組織のあり方にも通じるものがあるのではないのでしょうか。

●和を尊びましょう

「職場の教養」より

結女さんの松山ミクロン

色街を  
のぼりつめたる  
花の寺

花冷えの  
握ればぬくし  
一円玉

八木健さんの川柳アート



宇和ちゃんの啖呵山短歌

大川嶺その肩口に立ちて見る  
石鎚連峰凜と気高し

汽車の歌畑も飛ぶ飛ぶ家も飛ぶ  
相対速度を教えていたのか

道しるべ

親切は人に求めず自分から

下心のある親切はすぐ見破られてしまう。相手に対し自分からする。何も思わない無心の親切が本当の親切といえる。